

に 公 協 発 - 9
令和7年1月15日

にかほ市地域公共交通活性化協議会委員 各位

にかほ市地域公共交通活性化協議会
会 長 本 田 雅 之
(公 印 省 略)

第3回 にかほ市地域公共交通活性化協議会の開催について（通知）

新春の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からにかほ市の公共交通施策に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第3回本協議会は、書面決議とさせていただきます。

ご審議いただく案件は以下のとおりとなりますので、審議結果について回答くださるようお願い申し上げます。

案 件 1. 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価

提出期限 令和7年1月24日（金）まで

○補助金交付要項等に基づき、本協議会において協議を行い、承認を得たうえで、報告するものとなりますので、皆様のご審議をお願いいたします。

※地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）とは

生活交通ネットワークを確保・維持するため、地域間交通ネットワーク（市町村を跨ぐ交通）と密接な地域内のバス交通等の運行について国土交通省より支援されているものです。

地域間交通ネットワークと接続する系統を「フィーダー系統」と呼びます。

※以下よりオンライン回答も可能です。



【担当】

にかほ市総務部総務課

総務行革班 佐々木亮

TEL : 0184-43-7507

FAX : 0184-43-5707

ryou-s@city.nikaho.lg.jp

令和7年2月3日

にかほ市地域公共交通活性化協議会委員 各位

にかほ市地域公共交通活性化協会
会 長 本 田 雅 之
(公 印 省 略)

第3回 にかほ市地域公共交通活性化協議会
書面協議の開催結果について(報告)

大寒の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からにかほ市の公共交通施策に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日開催いたしました令和6年度第3回本協議会・書面協議につきまして、ご多忙のところご審議いただきまして誠にありがとうございました。

ご審議いただいた結果、以下のとおり承認されましたのでご報告いたします。

ご不明な点がありましたら、事務局までご連絡ください。

1. 開催日

通知日 令和7年1月15日(水)

回答期限 令和7年1月24日(金)

2. 回答状況

委員数(会長を除く) 27名

回答数 25名

3. 協議結果

別 紙

【お問い合わせ先】

にかほ市地域公共交通活性化協議会

事務局 にかほ市役所 総務課

総務行革班 佐々木亮

TEL : 43-7507 FAX : 43-5707

別 紙

令和 7 年 1 月 1 5 日付け

第 3 回にかほ市地域公共交通活性化協議会書面協議の結果について

【案件】

案件第 1 号 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価

承認 2 5 名・不承認 0 名

【結果】

案件は原案どおり承認されました。

様々なお指摘やご意見を頂きましてありがとうございました。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名:	にかほ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)象潟合同交通	院内・小出線②-1 院内・小出線②-2 ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、重複路線の解消に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標6,909人に対し、実績は6,395人【達成率92.6%】 既存利用者が高齢化等で減少する中、新規利用者や定期利用者が増えず、目標を下回った。	主に通院や買い物に利用されている路線であり、利用者ニーズを把握し、ダイヤ改正による利便性の向上に努めるとともに、路線維持に向けて再編の検討を進める。
(株)象潟合同交通	釜ヶ台線① 釜ヶ台線② 釜ヶ台線③ ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、重複路線の解消に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標5,991人に対し、実績は5,228人【達成率87.3%】 小中学生の利用は昨年並みである為、新規利用者や定期利用者が増えず、目標を下回った。	小中学生の登下校に利用されている路線であり、路線の再編を慎重に行う必要がある。しかしながら、路線維持のためにも引き続き再編の検討を進める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名:	にかほ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)象潟合同交通	大竹線① ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、重複路線の解消に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員は目標7,107人に対し、実績は7,736人【達成率108.9%】 新規利用者や定期利用者が増え、目標値より微増した。	主に通院や買い物に利用されている路線であり、利用者ニーズを把握し、ダイヤ改正による利便性の向上に努めるとともに、路線維持に向けて再編の検討を進める。
(株)象潟合同交通	上郷・小滝線① 上郷・小滝線③ 上郷・小滝線④ ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、路線維持に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員は目標12,786人に対し、実績は12,934人【達成率101.2%】 一般の利用者は横ばいであるが、学生の利用が増えた為、目標値より微増した。	学生の登下校に利用されている路線であり、路線の再編を慎重に行う必要がある。しかしながら、路線維持のためにも引き続き再編の検討を進める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名:	にかほ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)象潟合同交通	上郷・長岡線⑤ ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、路線維持に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標6,002人に対し、実績は4,889人【達成率81.5%】 一般の利用者は横ばいであるが、学生の利用が減った為、目標値を下回った。	学生の登下校に利用されている路線であり、路線の再編を慎重に行う必要がある。しかしながら、路線維持のためにも引き続き再編の検討を進める。
(株)象潟合同交通	平沢線② ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。 ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。	【前回の評価結果】 ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。 ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。 【評価結果の反映状況】 次期ダイヤ改正に向けて利用が低調な便について調査を行い走行キロの削減や、路線維持に向けた路線再編について検討を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標7,101人に対し、実績は6,604人【達成率93.0%】 既存利用者が高齢化等で減少する中、新規利用者や定期利用者が増えず、目標値を下回った。	主に通院や買い物に利用されている路線であり、利用者ニーズを把握し、ダイヤ改正による利便性の向上に努めるとともに、路線維持に向けて再編の検討を進める。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月15日

協議会名:	にかほ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	にかほ市は秋田県南西部に位置し、日本海と鳥海山に抱かれたまちであり、人口22,075人(令和6年12月末日現在)、総面積241.13km²となっている。 本市の公共交通は、鉄道1路線、路線バス2路線、コミュニティバス7路線、タクシー会社1社により構成されている。本市コミュニティバスは平成20年の生活バス路線廃止に伴う代替交通として運行を開始し、小中学生の登下校手段の他、交通弱者の買い物や通院のための移動手段として、きめ細かな運行を行う一方、利用実態や利用者要望等を踏まえたダイヤ改正等を行い、利用者の利便性向上に努めてきた。 しかしながら、少子高齢化や人口減少により、公共交通機関の利用減少がなお継続しているほか、2024問題や燃料費の値上がりにより、行政負担の増加が更に見込まれる。 また、高齢化による免許返納者は増加すると想定されるとともに、自らが移動手段をもたない交通弱者は依然として存在し、地域公共交通の役割は必要不可欠となっている。 こうしたことから、令和4年3月に公共交通のあり方から具体的な再編内容まで検討し、市民にとって利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を構築した公共交通のマスタープラン「にかほ市地域公共交通計画」を策定しました。 さらには、公共交通の利便性を高めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)を活用し、幹線と連結している支線を確保・維持することで、生活の足の確保及び外出機会の創出につながるものである。 なお、令和5年12月から令和6年6月までオンデマンド交通の実証を行い、新たな交通として、引き続き可能性を検討している。

にかほ市地域公共交通活性化協議会

平成28年10月1日事業開始

事業名：令和6年度地域内フィーダー系統

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

対象路線は、生活バス路線の廃止に伴う代替運行としてコミュニティバスを運行し、交通弱者の通院や買い物のための移動手段となっている。利用者の減少が続いているものの、幹線と連結している支線を確保、維持することで市民生活の「足」の確保及び外出機会の創出につながるものであり、かつ、公共交通のネットワークの再構築を図るために必要である。

確保・維持する系統の概要



【地域内フィーダー系統】

- ・運行事業者：株式会社象潟合同交通 ・系統数：10系統
- ・運賃：均一制200円（中学生以下、障がい者手帳保持者とその介護者1名半額）
- ・運行日：月～土（祝日、12/31～1/3を除く）

※院内小出線及び大竹線、平沢線は月～金

事業・実施主体

- ・バスの乗降体験や乗り方教室を実施することで、利用促進につなげ、安全安心に利用していただく機会を創出する。（にかほ市、事業者）
- ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通を分かり易く表示し、利用者が幅広く活用できるようにする。（にかほ市）

定量的な目標・効果

【目標】 令和4年の輸送人員実績値からそれぞれ1%以上増加を目標とする。

院内・小出線 6,909人、釜ヶ台線 5,991人、大竹線 7,107人、
上郷長岡線 6,002人、上郷小滝線 12,786人、平沢線 7,101人

【効果】

- ・各駅への接続による中心市街地の活性化
- ・既存公共交通との連携による効率的な運行体系の実現
- ・外出機会の増大による社会参加や地域活性化の促進
- ・病院や商業施設へのアクセス確保による生活環境の向上

基礎データ

- ・合併状況：平成17年に、仁賀保町、金浦町、象潟町の三町が合併
- ・人口：22,075人（令和6年12月末現在） ・面積：241.13平方キロメートル
- ・高齢化率：40.55%（令和6年12月末現在） ・協議会開催数：3回（令和5年10月～令和6年9月）

前回の評価結果

【達成状況（結果）】 【内訳】 A：2件 B：4件 C：0件 ※各路線毎

【評価】

- ・多くの系統でダイヤ改正を行い利便性の向上及び利用者の拡大を図り、結果として概ね目標達成に至っている点を評価します。
- ・今後も継続的なニーズ把握に努め、さらなる需要掘り起こしを含む利用促進や利便性向上に向けた取組の展開に期待します。

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

- ・バス等の乗降体験や来場した方に対し個別に乗り方を教える機会を創出し、公共交通への関心、利用促進を行った。
- ・利用が低調な便についてはニーズ把握を行い、ダイヤ改正及び減便による走行キロの削減及び利便性向上の検討を実施。

【実績】 院内小出線：6,395人（達成率：92%） 釜ヶ台線：5,228人（達成率：87%）
大竹線：7,736人（達成率：108%） 上郷・長岡線：4,889人（達成率：81%）
上郷・小滝線：12,934人（達成率：101%） 平沢線：6,604人（達成率：93%）

【内訳】 A：2件 B：4件 C：0件 ※各路線毎

※評価の判定基準

A⇒目標達成100%以上 B⇒目標達成80%以上

C⇒目標達成80%未満、又は補助対象外（1運行当たり2人未満、運行割合30%未満）

事業の今後の改善点

- ・小中学生の通学で利用している路線もあるが、重複路線等もあるので利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を引き続き行う。
- ・利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等の検討、実施を行う。